

消防 鹿角

第18号 平成17年 春季号

編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部・消防署

鹿角広域行政組合消防本部管内

出動件数

平成17年1月～平成17年2月

総出動件数 325件

①火災等	4件
②救急	269件
③救助	13件
④風雪水害	3件
⑤遭難捜索	0件
⑥その他	36件

※1ヶ月の平均出動件数 162.5件

<全国統一標語>

「火は消した？いつも心にきいてみて」



【平成16年度 防火ポスターコンクール
佳作入選作品】

「火事は自分で気を付けていれば防げることです。
小さな原因をなくしてほしいという想いで描きました。」



花輪第二中学校三年（受賞当時）

米田 智那未 さん



花輪第一中学校二年（受賞当時）

さわ いで かず あき
澤 出 和 朗 さん

「家が燃えて母と子供が命を落とし、父が嘆いている絵です。この絵はきちんと火を消さないと、こんなにもとんでもない災害になるから「火の後始末はしっかりしよう。」という気持ちで描きました。」

【平成16年度 防火ポスターコンクール
三席入選作品】



写真提供：秋田魁新報社

最新鋭、多目的に使用できる消防ポンプ車

今年1月に消防署のポンプ1号車が更新となりました。このポンプ車は低床式フルタイム四輪駆動で、悪路や冬期間もスムーズな走行が可能。その他の特徴として**900リットルの水槽**を積載しており、初期消火や山火事に備えます。また油圧救助器具・アセチレンガス溶断機・空気の高圧の救助器具を積載しており、救助活動も可能です。



メタルハライドランプ
100m先でも100ルクス（家庭の居間の明るさ）の明るさで照らすことが出来る作業灯です。



【主な仕様】

全長：7,095mm
全高：3,000mm
全幅：2,280mm
乗車定員：6名
ホイール幅：3,750mm
シャーシー：5t級
ポンプ性能：A-2級



ホースカー
アルミ製で従来品と比べて40%軽量化されているのが特徴。より速いホース延長が可能です。



ウォーターチャージャー
山火事で消火活動に使用する「背負い式水のう」にスムーズに水を補給します。（最大6器まで可能）

スノーカフ

車両後部に取り付けたカフが後部積載品の凍結防止と後続車両への雪巻き上げ防止になります。

シャッター

左右に取り付けたことにより、凍結や汚れからポンプや各種積載品を保護します。

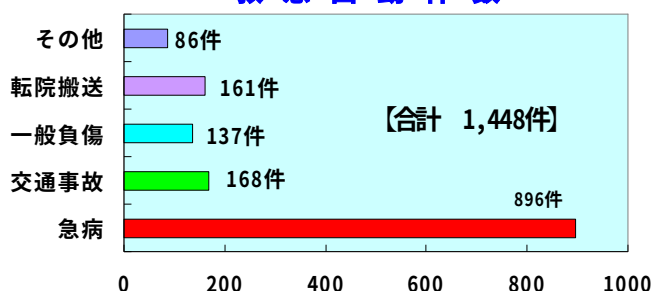
平成16年の火災・救急統計

平成16年中に鹿角市・小坂町で発生した**火災**は22件（前年比-1件）で、年末に多く発生しました。その中で建物火災が68%を占めています。

救急出動は1,448件（前年比+81件）で、過去最高の件数となりました。60歳以上の方が搬送人員の67%を占め、今後さらに増加していくと考えられます。



救急出動件数



火災出動件数



春の火災予防運動実施

(4月3日～9日)

4月3日の早朝に消防団による火災想定訓練が行われます。鹿角市は「総合運動公園周辺」・小坂町は「あかしや荘周辺」です。消防車がサイレンを鳴らして走りますので、**火災と間違わないよう、注意して下さい。**
訓練終了後、各地域を消防車で防火パレードを行います。



《週間中の主な行事》

- 住民防火運動（3日 9時30分～）
消火器の取り扱い指導・消火訓練・防火について話し合いなどを実施します。
場所：八幡平玉内自治会
大湯四ノ岱町内会
小坂町尾樽部自治会
- 大サイレン吹鳴（3日～9日）
火災予防運動中は、朝と夕方の7時にサイレンや警鐘が鳴ります。

ひとくくメモ

花粉症対策

花粉症はアレルギーの一種です。花粉症になってしまうと体内の免疫力が低下し、アレルギー症状が引き起こされることで「目のかゆみ」「くしゃみ」「鼻水・鼻づまり」を誘発します。

花粉症にならないためには、十分な睡眠や適度な運動やストレスを減らす対策をすることが良いといわれています。

花粉症の防止策

1. マスクの着用（花粉を吸い込まないようにする）
2. メガネの着用（涙目・目のかゆみ・充血の症状を和らげる）
3. 帽子の着用（髪につく花粉を減らし、吸い込みを軽減する）

防災マンガ 消防くん⑦



消防団幹部候補中央特別研修会に鹿角市消防団員2名が出席

『第4回消防団幹部候補中央特別研修会』が平成17年2月17日から2日間、東京の日本消防会館で開催され、鹿角市からも消防団幹部候補者が2名参加しましたのでコメントを頂きました。

この研修会に参加してまず一番に感じたことは、参加者全員の消防団活動に対する熱意、自覚の強さでした。講義の中で質疑、課題検討での挙手による発言が絶えず、時間を押して止まらないくらいの意見を出し合ったことがその表れでした。全国どここの消防団でも課題とされることは同じような事で、「団員の確保」、「日中の火災での出勤団員の不足時のOB団員との連携を図るための体制の整備」などお互いの色々な問題点、考えを話し合えたことは、大変有意義な事であったし、数名の方と名刺を交換し、この先もお互いに連絡を取り合うことを誓い合いました。また、研修において、班長を命じられ、いろいろと貴重な体験をさせていただき、充実した研修会となりました。これを糧に、これからの消防団活動により一層、邁進していきたいと思っています。

八幡平第三分団第二部

班長 阿部國博



現在おこなわれている消防団活動の問題点と今後期待されている消防団活動について講義や課題討議を通して全国各地の消防団員と交流することができ、各地の消防団の活動事例や防災等に関する認識を様々な局面から知ることが出来ました。今後も市民の生命・身体・財産を守る消防団使命を安全・確実に遂行し、地域住民と共に防災活動に従事し、魅力ある消防団づくりに役立てて参りたいと思います。

尾去沢第一分団第一部

班長 前田幸栄



消 防 機 器 の 紹 介

【グランドフラッシャー（LED）付 地下式消火栓蓋】

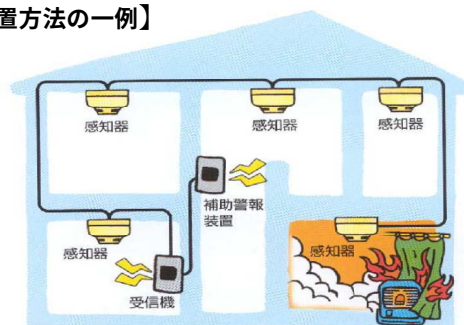
日が暮れると点灯し、夜間でも地下に設置された消火栓の位置を教えてください。電源に太陽電池を採用することにより環境にもやさしい構造で、花輪の六日町の3個所に設置しました。雪国では初登場となります。



住宅用火災警報器の設置について

住宅火災による死者数は、建物火災の死者数の約9割を占めます。また住宅火災による死者数の約7割が逃げ遅れによるものです。このような状況を踏まえて消防法が改正され、全国一律に住宅用火災警報器の設置が義務付けられます。新築住宅は、平成18年6月1日から施行となります。既に建てられている住宅は、市町村条例により適用時期が定められます。問い合わせは消防本部まで。なお消防本部のホームページにも掲載していますので、そちらもご覧ください。

【設置方法の一例】



消防通信 龍 吐 水

鹿角市・小坂町消防団員募集

郷土の財産を自らの手で守る地域防災のリーダーである消防団員としてあなたも活躍してみませんか。

入団資格は鹿角市・小坂町の区域内に居住している、18歳以上の身体健康な方。

活動内容は災害への出動・各種訓練・消防団行事などが主な活動です。

問い合わせ先は消防本部総務課、または小坂町役場町民課（29-2400）まで。



自主防災組織育成研修会開催

2月8日に地域住民の自主防災体制の確立・自主防災組織の結成促進・育成強化を図ることを目的に、鹿角地域交流センターで開催されました。内容は講義や体験発表などで、会場には各自治会代表者や消防団員他約300人が集まりました。

自主防災組織は、地域の防災活動を効果的に行う組織です。災害に強い地域を作るために、自主防災組織を結成しましょう。問い合わせは鹿角市役所総務課（30-0203）、または消防本部まで。



連絡・問い合わせ先

ホームページアドレス

◎消防本部・消防署 電話 23-5601

◎八幡平分駐所 電話 34-2229

◎十和田分署 電話 35-2006

◎小坂分署 電話 29-2119

<http://www.ink.or.jp/~fdkazuno/>

—みなさんからのご意見・投稿をお待ちしています。—